

知らない生き物の生態

動機は「ざんねんな生き物事典」を読んで感心した生き物の生態を紹介したいと思います。

ライオンはじつは体力が弱い！

「百獣の王」ライオンは他の動物にくらべ心臓が小さいです。体重に占める心臓の重さをくらべるとハエが1%、ライオンは0.5%とハエの半分です。なのですぐに息が苦しくなって長く歩くことができません。



カバは泳げない！

カバは1日のうち1/4時間を水の中で過ごすことがありますが全く泳げません。水中では川の底をけ、てスチップをするように進みます。45分息をとめることもできます。



ブタはデブじゃないのにデブだと思われている！

一般的な人間の体脂肪率は20%くらいですが、ブタの体脂肪率は15%ほどです。うまれたばかりの子ブタは2%ほどしかありません。本物のブタは人間のモデルなわけです。



アカウミガメは豆頭までムキムキ！

アカウミガメは頭は丸くずんぐりとしています。アカウミガメは貝などのかたい殻をバリバリとかみくだいて食べるのであごの筋肉が発達して頭までムキムキになってしまったのです。



セミは寝ぼけて鳴く！



妙な時間にセミがジーンと矢張り鳴く。あれは寝言です。セミは本来種類によって鳴く時間が決まっているためまだ外が明るい時間に鳴く。セミは夜でも明るい町中だと時間をかんちがいしてハット鳴いてしまうセミがいるようです。

ペンギンはいつも空気いす！

ペンギンはいつも空気いすです。外から見えているのは足首の部分だけで本当は見た目の3倍くらい長いのです。ほとんどの部分は体の中にくまっています。いつも足を曲げて歩いています。



カは血なんかすいたくない！

カは血だけをすて生きているわけでもありません。花の蜜や樹液を主食にしています。じつは血をすうのは産卵前のメスだけです。卵をうむために栄養豊富な血を必要とするのです。



まとめ

このように生き物の生態は見た目や思い込んでいる事とは違う事が多い。そして自然界で生きるための工夫がある。

<参考資料>

ざんねんな生き物事典 Webサイト

夏休みに取り組んだ作品です。生き物の生態って、おもしろいことが多いですね。本を読んで、上手にまとめてくれました。分かりやすいです。